

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	玄武岩公園管理事業							事業コード	230206						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所					所属長	中島 美香							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市やくの玄武岩公園条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されている「やくの玄武岩公園」を、夜久野地域における観光施設のひとつとして適正に維持管理することにより、夜久野地域への観光客及び交流人口の増加を図る。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	895		1,695		1,160		2,424		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		895		1,695		1,160		2,424		
予算財源内訳	① 一般財源	895		1,695		1,160		2,424		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 115		389						
	② 配当予算	780		2,084						
	③ 執行額	751		2,070						
	④ 執行率	96.3%		99.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19	/	0.05	0.29	/	0.05	/		
	② 概算人件費	1,645		2,445						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,396		4,515						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	想定見込来場者数	千人	90	/	159	49	/	90	49	/	90
	苦情・クレーム件数	件	0	/	0	0	/	0	0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	公園内清掃	回	12	/	12	12	/	12	12	/	12
	単位あたりコスト		74.3		62.6		172.5				
	単位あたりコスト		/		1		/		/		玄武岩公園管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	やくの玄武岩公園は、旧夜久野町が観光施設のひとつとして民間の土地を無償で借り上げて整備した公園であり、市へ土地の無償譲渡を受けることで、令和2年度に市有地となったことから、適正に管理するため、令和3年度に公園条例を制定した。 将来にわたって適正に管理する必要がある。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	公園の清掃業務については、入力で地元の団体が受託し、また、地元公民館のボランティア活動によっても清掃が行われており、効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	やくの玄武岩公園への来客数をカウント出来ないため有効性の分析が困難である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	維持管理に関する苦情クレームは少なく、適正に管理できている。 やくの玄武岩公園は、道の駅「農匠の郷やくの」、宝山、夜久野八十八か所石仏めぐり等、夜久野高原を周遊してもらうための観光における立ち寄りポイントのひとつであることから今後も様々な手法によりPRを行っていく必要がある。 玄武岩の柱状節理、板状節理の景観を保つため、周辺の樹木の計画的な整備が必要である。 ※ 平成28年には、玄武岩の柱状節理、板状節理に加え滝があることにより、映画のロケ地となった。 平成29年には、「出発ローカル線聞きこみ発見の旅」でやくの玄武岩公園が紹介された。		
改 善 策	条例に位置付けた公園として将来に向けて適正管理を続けるとともに、地域の観光資源として活用できるよう、四季折々の様子をSNSで発信するなど、関係機関とも連携しながら情報発信をしていく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和２年度の玄武岩公園用地整理事業において取得が完了し、令和３年度に公園条例を制定した。 観光資源として適正管理を続ける。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農匠の郷やくの施設管理運営事業							事業コード	230219							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化									
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822							
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	92		頁
計画期間	開始年度	平成11年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R5現在の状況			継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市と農村の交流拠点として整備し、夜久野高原を中心とした観光の拠点施設となる「農匠の郷やくの」を適切に管理運営していく。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	19,352		29,236		26,073		39,961					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		19,352		29,236		26,073		39,961					
予算財源内訳	① 一般財源	13,276		25,168		19,340		19,255					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		8,536					
	⑤ その他特財	6,076		4,068		6,733		12,170					
決算情報	① 流充用額	4,960		2,125									
	② 配当予算	24,312		31,361									
	③ 執行額	24,312		31,288									
	④ 執行率	100.0%		99.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.19	/	0.53	1.35	/	0.10	/					
	② 概算人件費	10,845		11,050									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,157		42,338									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	花あずき館貸付収入		種類	財産貸付収入		610		決算附属資料	34		頁
			子ども等体験農園土地使用料			総務使用料		7			10		
			農匠の郷やくの施設管理運営事業負担金			雑入		2,406			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	指定管理施設利用者数	人	40031	/	82295	-	/	-	/	-	82295
	道の駅施設利用者数	千人	-	/	-	49	/	49	/	49	49
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	維持管理経費	千円	67889	/	65066	24312	/	19352	31288	/	29236
		単位あたりコスト	-		-		1.0				
	指定管理料	千円	42918	/	43132	3	/	-	-	/	-
			-						農匠の郷やくの施設管理運営事業		
			-								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	平成14年に登録された道の駅「農匠の郷やくの」は、夜久野地域における農村都市交流の拠点施設であり、当初より継続して運営管理している必要な事業である。 令和3年3月末でメインの施設が休館しており、休館施設の早期再開に向けて関係機関等と協議を進めている。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	数千万円の指定管理料がかかっていたことから、指定管理を終了し、民間事業者による運営ができないか、調査・検討しており、再開に向けての維持管理としては効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	夜久野高原には、京都府唯一の火山である宝山や夜久野八十八か所石仏めぐりなど、資源、自然、歴史的な観光資源が豊富にあり、その観光拠点としての「農匠の郷やくの」の早期再開に向けて維持管理しておくことは有効である。 メイン施設が休館していることで目標が不達成となっており、施設の早期再開が目標となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和2年度で指定管理制度による運営が終了し、大半の施設が直営管理となり休館している。 最小限の維持管理は行っているが、その期間が長引くほど施設には悪影響を及ぼす。 民間事業者の経営ノウハウを生かした運営形態となるよう早期に活用事業者を決定する必要がある。		
改 善 策	「農匠の郷やくの」の休館施設の再開に向け、整理、処理しなければならない課題を早期に解決し、施設の活用を決定することが事業の改善策である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	活用事業者を決定するために、事業者募集を行い早期の施設再開を目指す。施設の再開するまでの間、使用されていない施設の維持管理を行い、施設再開に向けた施設整備に係る設計業務予算を計上。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	宝山公園等管理事業							事業コード	230260							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化								
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822							
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所					所属長	中島 美香								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	92・94		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	「夜久野高原金浦公衆便所の設置及び管理に関する協定書」及び「覚書」(相手側:朝来市長)															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野地域における観光拠点である宝山公園と夜久野高原さわやかトイレを適正に維持管理する。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (朝来市への負担金)					
委託先・実施主体等	あした土木					
事業概要 (箇条書き)	宝山公園維持管理業務の実施及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理負担金の支払いによる維持管理。 ・公園内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託。 ・朝来市と共同設置した「さわやかトイレ(夜久野高原)」の維持管理経費(1/2)の負担。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容			
	需用費	33	水道料金、電気代			
	役務費	1	建物総合損害共済基金分担金			
	委託料	1,012	宝山清掃業務委託料			
	使用料及び賃借料	42	宝山公園土地賃借料			
	負担金補助及び交付金	258	夜久野高原さわやかトイレ維持管理費負担金			

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	1,416		1,416		2,025		2,053				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		1,416		1,416		2,025		2,053				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	1,192		1,192		1,812		1,840				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	224		224		213		213				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決 算 情 報	① 流充用額	△ 95		0								
	② 配当予算	1,321		1,416								
	③ 執行額	1,320		1,347								
	④ 執行率	99.9%		95.1%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.09	/	0.10	0.08	/	0.10	/				
	② 概算人件費	970		890								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,290		2,237								
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	宝山公園等管理事業(きょうと地域連携交付金)		種 類	総務費府補助金		実績金額	126		26	頁
									決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	苦情件数	件	0	/	0	2	/	0	0	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	清掃回数	回	310	/	310	310	/	310	310	/	310
		単位あたりコスト	5.1		4.3		4.3				
			/		5		/		/		宝山公園等管理事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	宝山は京都府唯一の火山で知られており、観光拠点の維持管理事業として必要である。また、宝山には夜久野八十八か所石仏群が存在しており、その関係団体と協力して維持管理することも必要である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業費は、公園内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託料、「さわやかトイレ(夜久野高原)」の負担金等、必要最小限の経費であり、年間を通じての維持管理として有効である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	登山者数の把握が困難であることから、現状の取り組みでどこまで市民等のニーズに応えられているかが不明。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	夜久野高原の施設を適正に維持管理することにより、観光地としてのイメージアップにつなげていく必要がある。 訪れる方の人数把握は、入山ルートが複数あること、利用時間帯が主に早朝であることなどで難しい。 宝山作業道の整備並びに公園内トイレの改善の声を聞いており、公園を今後どこまで整備するのかを検討する必要がある。		
改 善 策	市の施設の適正な維持管理を行うため、事業を継続するとともに、地域の観光資源として活用できるよう朝来市とも連携し、「農匠の郷やくの」の新たな活用の方向性と合わせて検討していく。 昨年度お試し利用をしたKDDIの位置情報データ分析ツールを恒常的な利用等入込客数を把握する手段として市全体で入込客数を把握することが必要である。 作業道の整備については、本市観光協会や朝来市とも連携しながら検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	公園清掃等にかかる現場管理に必要な最小限の経費であり、適正管理を行うため事業を継続する。 利用者数やその年代等を把握することで、今後の活性化の方向性を探る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 ☐ 他事業へ統合	(統合事業名:) (統合先事業名:)
--------	--	--	-------------------------

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大雲記念館等管理事業							事業コード	230207							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化									
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822							
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所				所属長	神内 明宏									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	90		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	あしぎぬ大雲の里の施設である「大雲塾舎、鬼力亭」、「京都府指定有形文化財の大雲記念館」を市直営により適正な管理運営を行い、施設活用の促進を図る。						
対象者	来訪者(観光客等)			対象者数	508	単位あたりコスト	13.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,115		6,611		5,119		5,222					
	② 補正予算	2,936		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		14,051		6,611		5,119		5,222					
予算財源内訳	① 一般財源	3,260		6,426		4,984		5,087					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	10,791		185		135		135					
決算情報	① 流充用額	8		△ 1,330									
	② 配当予算	14,059		5,281									
	③ 執行額	13,958		2,575									
	④ 執行率	99.3%		48.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.40	/	0.45	/					
	② 概算人件費	3,200		4,325									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,158		6,900									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	大雲記念館貸付収入		種類	財産貸付収入		35		34	頁		
			大雲記念館及び関連施設使用料			総務使用料		11				決算附属資料	10
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設利用者数	人	10877	/ 24700	10362	/ 24700	508	/ 24700	/ 1000		24700
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	企画経営会議	回	12	/ 12	12	/ 12	/		/		12
		単位あたりコスト	1020.2		1163.2						
	実行委員会	回	/		7 /		5 / 5	/		5	大雲記念館等管理事業
		単位あたりコスト					515.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・由良川を観光資源とする由良川流域の拠点施設として整備した施設運営について、令和4年3月末に指定管理期間が終了し、令和4年度により、市直営で運営を行っている。 ・地域振興拠点施設として、また、地域の会議研修等の活用など地域振興に寄与する施設として運営している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・市直営で施設運営を行っているが、効率的な運営を目指して、民間活力導入による、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫による運営の効率化を図る必要がある。	☐ やや高い ☒ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・市直営により、研修等また飲食利用が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 ・施設運営においては、地域振興拠点としての施設の存在が地域の衰退を防ぐための施設として周辺地域市民の拠りどころとなっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和4年度当初は大雲の里一帯の指定管理を外し、行政財産として施設全体を直営で運営し、飲食部分(鬼力亭)のみ民間に業務委託をする予定であったが、飲食部分を担う業者が見つからなかったため、予算の執行率が低くなった。 ・令和3年度末で指定管理が終了し、令和4年度から市直営により施設維持を行っているが、市民また来訪者の利用の状況もふまえ施設運営のあり方、民間活力の活用についての検討が必要とされる。		
改 善 策	指定管理者制度第三者評価委員会の調査報告を受け、また、施設利用の状況も鑑み、令和4年度からは指定管理を外し、新たな施設活用のあり方が定まるまでの間、市直営での管理運営とし、地域振興に資する施設の新たな有効活用策の確立を目指し、活用の検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

| 事業属性

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・国定公園丹後天橋立大江山のエリア内に位置し、都市部からの誘客、また、市民のレクリエーション等地域活性化の拠点施設として整備した市施設であり、当施設を民間貸付により、民間ノウハウを生かす運営を行っている。 ・大江山の自然環境を生かし、学生等のスポーツ合宿を中心に都市住民の受け入れの拠点施設として、また、市民のレクリエーション施設として、地域振興に寄与する施設として運営している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・市施設を民間貸付により、民間運営を行い、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営の効率化を行う。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・施設利用者数は、令和3年度まで大江山酒吞童子の里施設内のグリーンロッジ(普通財産)を除いた利用者数としていたが、令和4年度から指定管理がはずれたため、グリーンロッジを含めた利用者数に改めた。なお、同じ算出ではR2年1,009人、R3年8,995人となる。 ・本施設は、大江山、鬼伝説エリアに位置していることから、同エリアにおける市事業(日本の鬼の交流博物館等)との連携を進めることにより、成果達成を目指す。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度末で指定管理が終了し、令和4年度から民間貸付による施設運営を行っている。コロナ禍の影響により、施設利用が低迷したなか、大江山エリアにおける市事業展開と連携した取組みや民間の経営ノウハウ活用、迅速かつ柔軟な対応による施設利用の増進が課題とされる。		
改 善 策	大江山エリアにおける市の事業展開と連携した施設の運営、また、民間の経営のノウハウを活かした事業者の更なる経営努力により、施設利用の増進、安定した経営を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	和紙伝承館管理事業							事業コード	230211					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所					所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	92	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	和紙伝承館は、かつての地場産業であった「丹後和紙」を後世へ伝承することを目的に設置された。本館では和紙の手漉き体験もでき丹後和紙について学習できる施設として観光・産業振興をテーマに地域活性化に寄与することを目的とする。					
対象者	来訪者（市民・観光客等）		対象者数	734	単位あたりコスト	5.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,960		2,016		1,277		1,619					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		1,960		2,016		1,277		1,619					
予算財源内訳	① 一般財源	1,666		861		487		649					
	② 国支出金	0		861		488		648					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	294		294		302		322					
決算情報	① 流充用額	△ 576		△ 22									
	② 配当予算	1,384		1,994									
	③ 執行額	1,366		1,513									
	④ 執行率	98.7%		75.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.30	/	0.00	0.35	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,400		2,800									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,766		4,313									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	和紙伝承館使用料		種類	総務使用料		117		10			
			和紙伝承館体験料			雑入		91				決算附属資料	48

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設利用者数	人	371	/	1200	302	/	1200	734	/	1200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開館日数	日	109	/	116	91	/	117	123	/	116
		単位あたりコスト	12.9		15.0		12.3				
		単位あたりコスト	/		11		/		/		和紙伝承館管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・和紙伝承館において、和紙の製作過程の展示、また、手漉き和紙の体験等を実施し、丹後手漉き和紙の伝統文化を後世に継承するため、また、都市部等外部に情報を発信する施設として、市が関与し運営する。 ・市内児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・効率的な運営に向けて、開館日を誘客の回りやすい土日祝と定め、また、体験については、事前予約制として施設運営を行っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・コロナ禍の影響により、施設利用者数は、より低迷しているが、手漉き和紙という貴重な伝統文化を後世に継承するため、継続した事業が必要とされる。 ・児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。 ・コロナ対策として、密を避けた和紙体験として、個人で体験可能な和紙を使用したうちわ体験を夏期限定で実施する。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	和紙伝承館は、地域の伝統産業であり貴重な文化である手漉き和紙の継承と観光振興による地域活性化を図るため、歴史と技の展示、製作体験、和紙を活用した作品の展示を行い、広く発信する施設として活用しており、市内児童による手漉き和紙による卒業証書の作成の取組など、継承に向けて一定目標を達成していると考えられるが、利用者数が低迷しており、有効な情報発信による利用者増が必要とされる。		
改 善 策	施設利用者数の向上が課題であり、文化財の修復に使われる価値の高い手漉き和紙であることを強くPRすることをはじめ、海の京都DMOなど他組織との連携を進めており、令和5年度には大型クルーズ船の観光客を呼び込むために、クルーズ会社が製作するテレビ番組で和紙伝承館を撮影いただくなど、利用者増に向けた新たな情報発信を行う。 コロナ禍の影響を鑑み、一人でも体験できるうちわ製作体験等新たな商品の作成を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江地域施設改修事業								事業コード	230256						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化								
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進							施策コード	822						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所					所属長	神内 明宏								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	92		頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	大雲記念館等からなる「あしぎぬ大雲の里」や大江山グリーンロッジ等からなる「酒吞童子の里」の各施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	11,392	単位あたりコスト	2.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,500		16,759		33,913		33,567				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		3,500		16,759		33,913		33,567				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		230				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		16,000		29,700		30,500				
	⑤ その他特財	3,500		759		4,213		2,837				
決算情報	① 流充用額	△ 704		4,082								
	② 配当予算	2,796		20,841								
	③ 執行額	2,554		20,841								
	④ 執行率	91.3%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.22	/	0.10	/				
	② 概算人件費	1,760		2,010								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,314		22,851								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域振興施設維持補修基金繰入		種類	基金繰入金		1,584		決算附属資料	40	頁
			大江地域施設改修事業(過疎対策)			総務債		16,800			52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設利用者数	人	20886	/	44700	19357	/	44700	11392	/	44700
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	修繕及び改修等件数	回	6	/	3	6	/	5	7	/	3
		単位あたりコスト	313.0		425.7		2977.3				
			/		13		/		/		大江地域施設改修事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・施設の適正な維持管理のため施設修繕を行うことにより、利用者の安全、利便性の確保となり、都市部からの誘客、また、市民のレクリエーション等地域活性化の拠点施設としての運営が可能となる。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・施設の長寿命化につながり、地域活性化拠点施設としての運営が持続できる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・施設利用者数は、コロナ禍の影響により、学生等の団体利用、また、大江地域への来訪者が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 ・本事業は、令和2年度に施設の経営改善に向けた業務等の検討を受け、それを基に施設の有効活用を図っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設の老朽箇所等の施設利用者の安全性・利便性を確保するため、また、施設長寿命化において有効な事業であるが、目的においては、施設を地域活性化拠点として活用することから、施設の運営において、利用向上の事業展開が必要である。		
改 善 策	大雲記念館等管理事業また大江山鬼瓦工房等管理事業と関連しており、民間の特性を活かした効果的な管理運営を目指し、また、市直営施設においては、地域振興に資する施設の新たな有効活用策の確立を目指し、活用の検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	元伊勢観光センター管理事業								事業コード	230259						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化								
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進							施策コード	822						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所					所属長	神内 明宏								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	92		頁
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社の観光案内機能を持たせ、国定公園の玄関・誘客拠点として観光による地域振興を目指す。					
対象者	来訪者(観光客等)		対象者数	2,135	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	988		1,014		979		1,004					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		988		1,014		979		1,004					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	736		768		729		754					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	252		246		250		250					
決 算 情 報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	988		1,014									
	③ 執行額	933		872									
	④ 執行率	94.4%		86.0%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00			/			
	② 概算人件費	2,160		2,160									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,093		3,032									
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	元伊勢観光センター貸付収入		種 類	財産貸付収入		115		決 算 附 属 資 料	34		頁
			元伊勢観光センター自販機電気代			雑入		39			46		
			元伊勢観光センター使用者負担金			雑入		93			48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設利用者数	人	1852	/	2000	1270	/	2000	2135	/	2000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開設日	件	99	/	116	90	/	117	117	/	116
		単位あたりコスト	11.0		10.4		7.5				
		単位あたりコスト	/		15		/		/		元伊勢観光センター管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・本施設は、大江山のルート上、かつ、元伊勢三社の近隣にあり、観光案内に適した位置となる。本施設において、土日に観光案内所を開設し、パンフレットによる情報だけでなく、ガイドを介して丁寧な情報提供により観光客の満足向上を図り、観光振興を進めている。 ・あわせて、施設一部貸付を行い、民間による飲食の提供を行っている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・観光案内に関しては、効率性を高めるため、週末、祝祭日の利用が見込まれる日時を主に開設日と開設時間を設定している。 ・一部施設の貸付を行い、施設有効活用を含め、効率的な施設の維持管理を行っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・ガイドによる観光情報の提供は、地域で生活を営む人ならではの視線で地域の魅力を深く掘り下げて紹介することで、地域の魅力と人をつなぎ、観光振興に有効性が高い事業である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	当該施設は、丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社など多くの観光資源を有し、かつ大江において多くの観光客が訪れる地域の観光案内施設として運営し、ガイドを介した丁寧な観光情報の提供により観光客の満足度向上に資するなど観光振興の一端を担っており、一定事業目的を達成していると考えられる。		
改 善 策	・観光振興の取組みとして、地域住民を主体とした観光ボランティアガイドによる観光地でのおもてなし土壌の強化として、大江山周辺の各施設や取り組み、トレイルラン教室などと連携・協力し、観光客の更なる増加を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	大江山入込客数	人	15010 / 30000	13490 / 30000	16320 / 30000	/ 30000	30000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	管理施設数	件	6 / 6	6 / 6	6 / 6	/ 6	6
		単位あたりコスト	447.5	473.3	649.7		
			/	17 /	/	/	観光関連施設管理事業
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・大江山や周辺を観光される方に安心して快適に過ごしていただくために観光トイレの清掃また設備の維持管理を行う。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・専門業者への委託により、業務内容を精査の上、観光トイレの適正な経費で事業を実施している。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・コロナ禍で減少していたが、大江山周辺を訪れる観光客も徐々に増えている。自由使用できる公衆トイレは、観光客が安心して快適に過ごしていただくために必要な施設であり、継続し維持管理を行う。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江山や周辺を観光される方に、安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を観光される方に安心して快適に過ごしていただくためには、自由に使用できる公衆トイレは必要な施設であり、継続した維持管理により、来訪者の更なる増加につなげたい。		
改 善 策	コロナ禍で減少していた来訪者も徐々に増えており、今後も他観光宿泊施設との連携により、大江山周辺の魅力の一つとして、いつでも快適に使用できる観光トイレとなるよう清掃や設備の維持管理により、来訪者の増加につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 ☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)
--------	--	--	------------

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	観光入込客数	人	892414 / 942000	594167 / 942000	816589 / 942000	/ 942000	942000
	大江山酒呑童子祭参加者	人	0 / 0	0 / 2500	2000 / 2500	/ 2500	2500
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	日本鬼師の会大会・理事会	回	0 / 4	0 / 4	0 / 4	/ 4	4
		単位あたりコスト					
	鬼にかかわる相互交流	回	0 / 6	190 / 6	0 / 6	/ 6	日本鬼文化交流事業
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	大江山の鬼伝説を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした地域づくりには必要である。 実行委員会を中心にイベント開催の可否について検討し、「鬼力の由良川夏まつり」は映画上映会のみ実施、「大江山酒呑童子祭り」は例年と同様に実施し、観光誘客促進を図った。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	住民組織の中でイベント参加負担金や協賛金を募り経費削減と財源確保についての意識が高い。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	鬼でつながりのある兵庫県川西市や静岡県小山町の祭りへの相互参加を例年実施していたが、コロナ禍ということもあり、交流を図ることができなかった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	近年、マンガやアニメの影響で「鬼」に注目が集まっており、「鬼力の由良川夏まつり」ではアニメ「鬼滅の刃」を上映、「大江山酒呑童子祭り」では鬼武者行列等の鬼にまつわるイベントを開催したほか、SNSを活用した「鬼コスコンテスト」も実施し、観光誘客に努めた。また、「福知山＝鬼のまち」の認知獲得のため、秘書広報課が「鬼文化PR事業」を実施し、鬼のプロモーションを行っている。そこで獲得した認知をいかに「鬼力の由良川夏まつり」や「大江山酒呑童子祭り」に参加してもらうという行動変容につなげていくかが課題である。		
改 善 策	日本の鬼の交流博物館が開館30周年を迎えるため、情報発信を行うことはもちろん、鬼の像などの観光スポットや鬼にちなんだ祭りがあることもあわせて発信することで、他課と連携して認知獲得、誘客を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	大江山の鬼伝説を交流コンテンツとして活用し、大江地域の個性を活かした地域づくりをPRするために必要な事業である。引き続き、「鬼力の由良川夏まつり」「大江山酒呑童子祭り」のイベント内容の更なる拡充を図り、観光誘客促進を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	観光ガイド数	人	47 / 30	47 / 30	47 / 30	/ 30	30
	受講者数	人	11 / 30	2 / 30	71 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	養成講座実施数	回	6 / 7	3 / 7	2 / 7	/ 4	4
		単位あたりコスト	57.8	81.0	204.5		
			/	21 /	/	/ 観光	おもてなし促進事業
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	ディスカバーウエストハイキングでは、観光ガイドが解説を行いながら、①明智光秀ゆかりの地 ②元伊勢エリアを巡る2コースを実施している。おもてなしの精神を持った観光ガイドによる詳しい解説付きツアーを実施することによってリピーターの獲得を図っている。パンフレットやネット情報ではわからない魅力をガイドが伝える貴重な機会であるため、必要な事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	ガイド団体に対する謝金であり最小限度の支出をしている。 ディスカバーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報しており、HPやチラシ等で集客を図っているほか、本市が参画する海の京都DMO等の告知媒体でも積極的に広報を行っている。 ガイド養成講座の実施は令和4年度から観光協会に委託し実施した。観光協会は観光に携わる300以上の団体及び個人を会員に有することから、効率的に講座の周知及び集客を図ることができた。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	本市の観光資源について学ぶ機会を提供することで、各団体や個人において、本市の魅力を伝えられる人材を育成し、官民一体となった観光誘客に取り組む基盤づくりとして有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	JRのパンフレットや海の京都の広報媒体(αステーション)、ロコミ等により、個人を中心に京阪神から参加者があった。目標とするガイド人数に達しているが、高齢化が進んでいることが課題である。そのため、講座を通して幅広い年代へのアプローチし、将来的なガイドの養成につなげていく必要がある。		
改 善 策	令和4年度からガイド養成に特化した内容ではなく、福知山の観光全般について幅広く学ぶ講座として実施しており、様々な年代の参加を促している。引き続き講座やガイドの会の周知を図るとともに、福知山公立大学の学生など若年層にも興味を持ってもらえるよう取り組みを行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	■ディスカバーウエストハイキング ⇒継続して広報を行い、参加者数の増加を図る。 ■観光おもてなし講座 ⇒魅力あるテーマの設定や広報の工夫により、参加者の確保や参加者の満足度向上に努める。 講座内では観光ガイドを紹介する時間を確保し、ガイドの担い手不足解消を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

区分

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光入込客数	人	892414	/ 942000	594167	/ 942000	816589	/ 942000	/ 942000		942000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	連携する広域観光団体	団体	3	/ 3	3	/ 3	3	/ 3	/ 3	3	3
		単位あたりコスト	397.3		400.7		911.7				
			/		23 /		/		/	観光振興一般管理事業	
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	観光振興行政にかかる事務経費であり、関係団体との連携や観光振興事務を円滑に実施するために必要である。 大丹波観光推進委員会では、コロナ禍によりイベントが開催できないことから、JAFと連携し、エリア内の観光施設等を周遊するためのデジタルスタンプラリーを実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	広域観光団体との連携においては、観光プロモーションなど、広域連携のスケールメリットを活かした事業に取り組んでいる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟、大江山観光開発協議会に関する負担金を毎年定額で支払っている。(大江山観光開発協議会は、令和4年度の支払なし) 旅行者は市町、府県をまたいだエリアで観光するため、広域観光団体との連携は有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	郵送料や事務用品等の事務経費は、必要最小限となるよう十分に審査し支出している。 また、北近畿広域観光連盟ではインバウンドのファムトリップを福知山市で開催し連盟のFacebookで発信するなど、各広域観光団体が保有するSNSを活用し本市の観光資源を発信することで、より広範囲に本市の魅力を発信することができた。 アフターコロナに向けて、各団体の情報発信のプラットフォームをさらに活用して本市の魅力を発信していくことが求められる。		
改 善 策	本市が参画する広域観光団体は、海の京都DMO、森の京都DMOのほか、京都府観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、大丹波観光推進委員会があり、それぞれの団体に独自のネットワークや強みがある。 本市のターゲットや観光素材とマッチングを図ることで、市単独ではできない事業を広域団体との連携のもと進めていく。 森の京都DMOと連携し、8月に開館する鉄道館の京阪神からのツアーを実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	パンフレットの発送業務を観光案内所に移管し、業務の効率化と経費の削減を行う。 広域観光団体との連携は継続して行い、各団体のコネクションやスケールメリットを活かした事業展開を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山踊り振興事業										事業コード	230130				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	198		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山ドッコイセまつり補助金交付要綱、ドッコイセフェスティバル補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の各団体に対して福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」の関連イベントの活性化を図り、踊りの参加者増加や観光誘客につなげる。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	22,950	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,706		2,706		2,206		2,006			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		2,706		2,706		2,206		2,006			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	2,706		2,706		2,206		2,006			
決算情報	① 流充用額	0		△ 52							
	② 配当予算	2,706		2,654							
	③ 執行額	497		2,397							
	④ 執行率	18.4%		90.3%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.40	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,280		3,200							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,777		5,597							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山踊り振興事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		2,397		40	頁
						実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	受講者数	人	509	/	1500	397	/	1500	665	/	1500
	踊り参加者	人	0	/	9000	0	/	9000	22950	/	9000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	派遣回数(単価契約)	回	12	/	45	9	/	45	21	/	45
	単位あたりコスト		9.7		55.2		114.1				
	単位あたりコスト				25						福知山踊り振興事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市内の保育園や小学校等から福知山踊りを学びたいというニーズに応える事業であり、令和4年度は主に保育園や小学校、高校に対して講師派遣を行ったほか、お城まつりやドッコイセまつりが3年ぶりに開催されたことに伴い、商工会議所等の団体へも講師派遣を行った。 福知山踊振興会と連携して若年層に対してアプローチを行うことは、本市の無形民俗文化財である福知山踊りを次世代に継承していくために必要であり、優先的に取り組むべき事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	講師派遣にかかる経費は、福知山踊振興会への委託料だけであり、会場費用は受講者負担のため最小限度の支出に努めている。 また、福知山踊りの指導とあわせて、踊りの起源となった福知山城築城や明智光秀についての講話も行うことで、地域の歴史を知る機会も提供できた。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣回数、受講人数ともに目標には届かなかったが、8月に開催された「ドッコイセフェスティバル」に踊り指導を受けた学校が出演して練習の成果を発表した。 会場には子どもの発表を見るため保護者が多数訪れ、幅広い世代が福知山踊りに接する機会となった。 また、城陽市や長岡京市の踊り保存会が福知山踊り振興会の日頃の活動内容や福知山踊りを学ぶために来訪されるなど、他団体からの関心も高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市の伝統文化を保存、継承する役割を果たしている。 福知山踊り講師派遣については毎年、年間約40件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。令和4年度は各団体からの派遣依頼が21件、参加人数は665名であり、いずれも前年度より約2倍となった。 令和4年度は3年ぶりに福知山お城まつりやドッコイセまつりが開催されたこともあり、保育園、幼稚園、小学校からの派遣依頼が増えた。来年度も若い世代が踊りに触れる機会をさらに増やしていく必要がある。		
改 善 策	今年度はコロナ前から定期的に踊り指導を受けていた学校や各団体に対して、感染症対策を十分に行って踊り指導をしていることを周知することで、派遣回数、参加者数の増加に努めることができた。 引き続き福知山お城まつりやドッコイセフェスティバル、ドッコイセまつりなどの関連イベントの際に講師派遣の紹介を行うことで、踊りに関心のある層に対してもアプローチを行っていく。 また、森の京都DMOの文化観光サポーターが実施している福知山の祭りを体験する出張講座との連携も検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本市の伝統文化である福知山踊りを保存、継承するために必要な事業であるため、引き続き、学校や市内外の団体等に対して福知山踊りの講師派遣を実施する。また、「福知山ドッコイセまつり」は集客力の高いイベントであり、本市の観光入込客数に寄与していることから、実行委員会に対して補助金を交付する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光案内所管理運営事業										事業コード	230131			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の玄関口であるJR福知山駅北口に観光案内所を設置することで、観光客に対して福知山観光の案内やサービスを提供し、満足度の向上を図る。					
対象者	観光案内所来訪者		対象者数	20,543	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,617		8,796		9,744		10,169					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		8,617		8,796		9,744		10,169					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	8,617		8,796		9,744		10,169					
決算情報	① 流充用額	80		833									
	② 配当予算	8,697		9,629									
	③ 執行額	8,657		9,629									
	④ 執行率	99.5%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.26	/	0.00	/					
	② 概算人件費	1,280		2,080									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,937		11,709									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	観光案内所管理運営事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		9,326		決算附属資料	40		頁
								実績金額					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光入込客数	人	892414	/	942000	594167	/	942000	816589	/	942000
	推奨土産品登録数	個	173	/	166	168	/	166	168	/	166
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光案内所開所日数	日	340	/	365	361	/	361	359	/	361
		単位あたりコスト	25.2		24.0		26.8				
			/		27		/		/		観光案内所管理運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	年間を通して361日間(年末年始は除く)、午前9時から午後6時まで開所し、本市を訪れる観光客に対して、観光情報や観光スポット、飲食店等の情報を提供することで観光客の満足度向上に努めた。 旅前の観光客に対してもHPやSNSで情報発信を積極的に行っており、本市の観光面における必要性は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	観光案内所の管理運営業務の経費が必要最小限となるよう精査のうえ設計し、業務委託を行っている。また、観光協会が土産品販売を行っており、土産品購入先としてイベントやツアー時にPRし、収入の確保を図っている。竜王戦の際には、オリジナルグッズの製作、前夜祭参加者限定のツアーを開催するなど、市ではできない独自性を発揮した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	年末年始を除く361日間、本市の玄関口である福知山駅に案内所を構えていることは、本市を訪れる観光客にとって現地で情報を得る有益な機会である。 平成30年度から土産品販売を行っており、観光客に商品を販売する場として市内事業者にとって必要不可欠な存在である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	福知山の玄関口であるJR福知山駅北口に案内所を開設しており、観光情報の提供や土産品の購入、飲食店、交通手段の案内等、当地を訪れる観光客の幅広いニーズに対応している。 令和3年度は新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間発令されたため、来訪者が令和2年度から半減したが、令和4年度は新型コロナウイルスによる移動規制がなかったため、20,543人に回復した。(来訪者数:平成30年度15,746人、令和元年度24,728人、令和2年度22,525人、令和3年度12,504人、令和4年度20,543人) 今後は、コロナ前の観光入込客数の回復に向けて、市と観光協会が連携し情報発信を行っていくことが課題である。		
改 善 策	令和4年度に観光協会がHPのリニューアルを行ったため、観光情報や市のシティープロモーションの取り組みなども積極的に発信していくことで、さらなる認知度向上を図る。 また、参画している広域団体等が出展するイベントに市と観光協会が連携して参加することで、本市への誘客を促進していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	積極的に市外イベントに参加して本市観光PRを行うための人件費・交通費の増額、パンフレット発送対応を円滑かつ迅速に行うための事務経費の増額により、委託料を令和5年度よりも増額している。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	観光入込客数	人	/	/	816589 / 942000	/ 942000	942000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	観光情報発信回数	日	/	/	65 / 67	/ 70	70
		単位あたりコスト			77.8		
			/	29 /	/	/	観光情報発信事業
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	年配の世代は紙媒体で観光情報の収集をするため、観光地、体験型観光コンテンツ、食資源(エエもん)等、本市の観光資源を網羅した観光ガイドブックを作成した。また、京阪神エリアでのJR駅内デジタルサイネージを活用して、本市の観光情報を発信し、コロナ禍において移動規制のない当年に誘客促進を図った。JR福知山駅コンコースにおいては、観光客及び市民に本市の魅力発信を行うため、観光情報等の発信を行うサイネージを設置した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	観光客の案内業務を担う(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部に観光パンフレットの作成・管理業務を委託し、観光客が必要とする情報をパンフレットへ反映させた。また、本市の観光客の出発地点として最も多い京阪神エリアのデジタルサイネージを活用することで誘客促進を図った。JR福知山駅コンコースに設置したデジタルサイネージでは、より詳細な観光情報を発信し、観光客の市内回遊性向上につなげた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	本市への来訪が最も多い京阪神エリアの主要JR駅において、デジタルサイネージでの情報発信を行うことはターゲティングの面でも非常に有効である。 また、観光情報だけではなく、竜王戦の発信を行うなど、他部署の事業とも連携することで話題を最大化させる取り組みも図った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	観光パンフレットの発行を作成・発送等の業務を観光協会に委託したことで、より効果的な配架を行うことができた。観光情報は継続して発信し、観光客及びリピーターの獲得につなげる必要があるため、次年度以降においてもデジタルサイネージ等を活用した情報発信を行っていくことが必要である。また、観光客が求める観光のテーマを時節に応じて捉え、サイネージでの投影内容に反映していくことも求められる。		
改 善 策	本市のイベント情報や他部署の取り組みなどを、より訴求力のある情報として発信するとともに話題を最大化できる時期や発信媒体の検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	観光情報を届けるターゲットの具体化や、効果的な広報媒体の選定による観光誘客の促進を図るため、国内向け(関西圏を主)と国外向け(台湾を主)に分けた情報発信業務をプロポーザル方式により業者選定する。 市内事業者による新たな観光コンテンツ開発に係る費用への補助金を創設し、官民一体での観光促進を図る。 国内最大のインバウンド向け旅行博に出席し、旅行会社やエージェン트에直接PRし、本市の認知度向上や旅行商品開発に繋げる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山お城まつり支援事業										事業コード	230147			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200	頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ交流人口の拡大を目指す。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	19,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,100		3,100		3,100		3,000			
	② 補正予算	△ 3,100		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		0		3,100		3,100		3,000			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		3,100		3,100		3,000			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	0		3,100							
	③ 執行額	0		3,100							
	④ 執行率	0.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.04	/	0.00	0.42	/	0.00	/			
	② 概算人件費	0		3,360							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,460							
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	福知山お城まつり支援事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		3,100		40	頁
								実績金額			
								決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	イベント入込客数	人	0	/	12000	0	/	12000	/	12000	12000
	観光入込客数	人	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	光秀行列	回	0	/	1	0	/	1	/	1	1
		単位あたりコスト					3100.0				
	開催日数	日	0	/	2	310	/	2	/	福知山お城まつり支援事業	
		単位あたりコスト					1550.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山に春を告げる「福知山お城まつり」は、本市のシンボルである「明智光秀ゆかりの福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の魅力を発信し、集客を図ることで観光消費額の向上にもつながることから、福知山商工会議所を事務局とする実行委員会を組織しオール福知山の体制で取り組む必要がある。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事務局である福知山商工会議所は、飲食店をはじめ多くの事業者との連携も強く、より多くのイベント出店確保や市民による盛り上げの効果が期待できる。 また、協賛金を募集することで自主財源の確保と協賛企業のPRを積極的に行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。大河ドラマで多くの注目を集めた「明智光秀」や「福知山城」を発信し、本市のプロモーションや誘客に資するイベントとして有効である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客や賑わい創出に寄与している。 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大により開催されなかったが、今年度は例年より縮小の内容ではあるが、関係機関と連携のうえ実施した。 コロナ禍により2年間の空白が生じているため、イベント参画団体等へのより積極的な参加呼びかけが求められる。		
改 善 策	本市で開催されているイベントの中でも集客力のあるイベントであり、2日間にわたって開催されることから出店者にとって魅力的である。 成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるよう、広域観光団体の広報媒体で積極的な発信に努めるとともに、より魅力的なイベントになるよう、実行委員会と検討を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	福知山に春を告げる「福知山お城まつり」は、本市のシンボルである「明智光秀ゆかりの福知山城」等の魅力を発信し、広くPRできる事業である。また、集客力の高いイベントであり、観光入込客数や観光消費額向上に寄与していることから、実行委員会に対して補助金を交付する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業										事業コード	230191			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	-			R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	アフター大河及びウィズコロナの観光のあり方を見据え、国内外のFITをターゲットとし、福知山の多様な地域資源を体験型観光コンテンツとして磨き上げ、現地ツアーの実施、アクティビティを動画で可視化し、これらを販売するポータルサイト「北色」を構築することで、地域経済を交流人口拡大により活性化させ持続可能な観光振興を目指す。				
対象者	観光入込客	対象者数	816,589	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,000		3,917		3,917		3,916					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		5,000		3,917		3,917		3,916					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	2,500		1,958		1,958		1,958					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	2,500		1,959		1,959		1,958					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	5,000		3,917									
	③ 執行額	4,994		1,705									
	④ 執行率	99.9%		43.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.96	/	0.00	0.40	/	0.00	/					
	② 概算人件費	7,680		3,200									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,674		4,905									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業(地創推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		852		20	頁		
			ふくちやまサードプレイスツーリズム事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		853				決算附属資料	42

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光消費額(販売額)	千円	/		1137 / 5000		503 / 5000		/ 5000		5000
	北色ウェブサイトPV数	PV	/		211691 / 300000		22286 / 300000		/ 300000		300000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	体験型コンテンツ数	個	/		11 / 10		11 / 20		/ 30		50
		単位あたりコスト			454.0		155.0				
	観光交流プロモーション	回	/		331 / 2		1 / 2		ふくちやまサードプレイスツーリズム事業		
		単位あたりコスト			4994.0		1705.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	誘客促進及びコンテンツ販売を促進するにあたり、協議会の創意工夫を引き出すため、販売額に応じて補助率が変動する成果連動型補助金を創設した。 また、コロナ禍により変容した本市の観光ニーズを把握・分析するため、アンケート調査(観光動向調査)をサードブレイスツーリズム協議会へ委託した。 本市の今後の観光施策を検討するためにも、観光客の声は重要なものであり、優先的に取り組む事業であった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	サードブレイスツーリズム協議会と月1回の定例会を設け、体験型観光コンテンツ販売サイト「北色」での販売状況や予約見込、観光動向調査にかかるアンケートの回収状況等の共有を行い、協議会と市が定期的に事業の見直し、改善策の反映を行いながら事業を実施した。 福知山マラソンの参加者に対して「北色」の情報を発信するなど、市の事業と連携を行うことで誘客を促進する取り組みを実施した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	成果連動型補助金を活用した体験型観光販売実績は、体験者74名、販売額503,000円となり、補助金の交付対象販売額には至らなかった。 観光動向調査においては、目標とする500サンプルに対して1196サンプルを回収した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	体験型観光販売実績において、令和3年度の年間販売額を下回っているため、「北色」の周知及び利用促進が課題である。 成果連動型補助金の交付対象販売額に至らなかったため、補助金交付が無かったため、事業全体として低執行率となった。 令和4年度は新型コロナウイルスにおける移動制限が発令されなかったため、コロナ禍における新たな旅行への価値観のなかで、より強力で旅行者へ訴求効果のあるPRが必要となる。これまでは、ウェブサイトやパンフレットによるBtoCプロモーションを中心に実施してきたが、旅行会社やDMO等へ周知を図りBtoBtoCでの波及効果を促す必要がある。		
改 善 策	観光動向調査において、本市を訪れる観光客の動向を分析し、北色を始めとした観光事業のプロモーション方法等を改善していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	観光動向調査を継続して実施することで観光客のニーズや状況を把握し、今後の観光施策に活用する。 また、本市で体験できる観光コンテンツの周知をDMOをはじめとした広域観光団体等と連携し、利用や認知の向上を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	「食」を通じた観光促進事業										事業コード	230199				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ANA等各種プラットフォームを活用し、「稼ぐ力のある福知山商品ブランドの創生」を行い、全国展開を目指すとともに、食に関する観光ブランドの展開やイベント等を開催し、交流人口の拡大を図る。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	816,589	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	0		9,031		9,682		10,305							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0											
小計(①～③)		0		9,031		9,682		10,305							
予算財源内訳	① 一般財源	0		181		182									
	② 国支出金	0		4,175		4,750		5,010							
	③ 府支出金	0		0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	0		4,675		4,750		5,295							
決算情報	① 流充用額	0		117											
	② 配当予算	0		9,148											
	③ 執行額	0		9,131											
	④ 執行率	0.0%		99.8%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	1.15	/	0.00	/							
	② 概算人件費	0		9,200											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		18,331											
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	「食」を通じた観光促進事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		4,175		20	頁				
			「食」を通じた観光促進事業基金繰入(地域振興基金)			基金繰入金		実績金額				4,956		決算附属資料	40

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	プラットフォームを活用した商品数	個	/	/	13 / 15	/ 15	15
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	食のイベント回数	回	/	/	1 / 3	/ 3	3
		単位あたりコスト			9131.0		
	食のイベント来場者数		/	35 /	10000 / 20000	/ 20000	20000
		単位あたりコスト			0.9		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	ANAグループのリソースを活用した取り組みであり、「食」を入り口にして観光誘客を図ることを目的としており、優先度は高い。 また、個別の事業者ではANAグループのリソースを活用することは困難であり、市の事業として実施することの必要性も高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	上半期に実施した福知山産品の磨き上げ、新商品開発等の講座は、公募制により事業者を選定しており、意欲的な事業者のみが参加した。他手段やコスト比較については、委託事業者側独自の提案が多く、同事業を同様に実施できる業者が見当たらない。コスト削減については、当初提案時点で減額交渉を行った。 下半期に実施した食のイベントの企画及び運営を福知山駅北口の振興を図る事業者に委託することで、関係者等との調整を円滑に進めた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	商品の磨き上げには13事業者が参加し、期間限定ではあるが羽田空港の「ANA FESTA」で商品の販売及びPRを行った。 また、ANAのふるさと納税サイト内への展開も行うことで、事業者の販路拡大にもつなげることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山の「食」の魅力をさらに引き出し、市外で通用する商品の磨き上げ(開発、改良)を中心に行った。その「食」を物販及び観光促進につなげて行く準備は出来つつあると考える。 一方、個人事業経営者が多いこともあり、全国基準に見合った食品基準を満たさない事業者も一部見られ、今後の課題も明確になった。事業者の弱み、強み等課題が明確になった点は評価できると考える。継続して事業を行うことで「福知山産品」の認知度向上を図り、将来の商品購入増や観光誘客につなげていくこととする。 商品の磨き上げに参加した13事業者のうち、羽田空港に出店したのは9事業者。商品取引実績は681個、758,410円となった。 また、2日間開催した食のイベント「Farmers tables FUKUCHIYAMA EKIKITA」は、2日間計、来場者数1万人、延べ出店数75店舗、店舗総売上額約820万円(推定値)、モニターバスツアー40名と好評だった。		
改 善 策	引き続き、市内外で「食」を切り口とした観光促進事業を実施することで、本市への観光誘客を図る。 令和4年度に商品の磨き上げを行った13事業者を中心にその他の事業者にも参画いただき、福知山産品の全国展開に向けた販路支援業務を行う。 また令和4年度は年1回の開催だった食のイベントを複数回開催することで、さらなる経済効果、本市の認知度アップ、誘客につなげていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	「食」を切り口とした観光促進事業を引き続き実施することで本市への観光誘客を図る。令和6年度は公募型プロポーザルにより事業提案を受け、最大の効果を得られる事業を展開していく。 また、食のイベントでは海の京都エリアなどの事業者も巻き込み、京阪神からの誘客を強化していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	海の京都DMO事業										事業コード	230344				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200		頁
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (府・市調整実施)															
関連事業	森の京都DMO事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府北部(福知山市・宮津市・京丹後市・舞鶴市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施する。					
対象者	観光入込客		対象者数	816,589	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (負担金支出)					
委託先・実施主体等	海の京都DMO					
事業概要 (簡条書き)	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する負担金 海の京都DMOが実施する主な事業 ・SNSを活用した情報発信 ・旅先納税の導入 ・マーケティング等					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容	
	負担金補助及び交付金		11,106		負担金	

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	11,116		11,106		11,132		11,138					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		11,116		11,106		11,132		11,138					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	3,986		3,982		3,992		3,992					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	7,130		7,124		7,140		7,146					
決 算 情 報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	11,116		11,106									
	③ 執行額	11,116		11,106									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.24	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,000		1,920									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,116		13,026									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	海の京都DMO事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		3,982		20	頁		
			海の京都DMO事業基金繰入(地域振興基金)			基金繰入金		7,124				決算附属資料	40

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光入込客数	人	892414	/	942000	594167	/	942000	816589	/	942000
	特産品販売額	千円	2142	/	2000	2227	/	2000	1332	/	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	海の京都ウェブサイトPV数	万回	233	/	500	302	/	500	619	/	500
		単位あたりコスト	47.2		36.8		17.9				
					37						海の京都DMO事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	全国初の広域での旅先納税を導入し、北部7市町を対象とした広域での観光客の消費促進を図ったほか、観光庁の補助事業を活用しエリア内でのE-Bikeのサイクリングツアー、インバウンドを対象とした農泊を活用とした商品造成など、DMOだからこそできる取り組みを行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域での誘客において、DMOに参画していることはメリットがある。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	旅先納税の実施にあたっては、スタート時に福知山市内20事業者が参画した。また、令和3年度に開発した海の京都エリアの「12蔵元の日本酒飲み比べセット」がエリア内で福知山市への寄付額が最多となった。ECサイトを活用した特産品販売を行うことで、コロナ禍により現地訪問が難しい中でも事業者の販路を確保することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	旅先納税では、本市では20事業者が参画しているが、本事業を通しての消費は少ない。消費促進のプラットフォームは構築したが、これをPR・周知することで、観光消費の促進を図る必要がある。 ※海の京都エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [令和4年度主要事業] ・国内プロモーション(TV、ラジオ等を活用し「海の京都エリア」として一体的なプロモーションを展開) ・インバウンドプロモーション(FAMツアー、世界最大の旅行博「World Travel Market」出展) ・旅先納税の導入(11/7～、全国初の旅先納税導入) ・CRMを活用したマーケティング調査 等		
改 善 策	市、DMO双方の媒体やPRネットワークを使って、事業者や観光客へ旅先納税を始めとした事業の発信を行っていく必要がある。 また、市内で体験型観光コンテンツの造成、販売を行っているサードプレイスツーリズム協議会との連携や令和5年8月にオープンする福知山鉄道館への広域からの誘客についても連携を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	関係団体と連携し、海の京都エリアへの誘客による観光入込客数の拡大や観光消費額向上に努めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森の京都DMO事業										事業コード	230345				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (府・市調整実施)															
関連事業	海の京都DMO事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府中部地域(福知山市、亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、京都市右京区京北)において、「森の京都」エリアの認知度向上と地域住民自らが地域を誇りに思い、地域外の人々に魅力を発信し、交流人口や関係人口の拡大によって、持続可能な観光地域づくりを目指す。					
対象者	観光入込客		対象者数	816,589	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,915		8,952		8,960		8,960					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		8,915		8,952		8,960		8,960					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	3,216		3,229		3,232		3,232					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	5,699		5,723		5,728		5,728					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	8,915		8,952									
	③ 執行額	8,915		8,952									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.37	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,800		2,960									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,715		11,912									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	森の京都DMO事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		3,229		20	頁		
			森の京都DMO事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		5,723				決算附属資料	42

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	観光入込客数	人	892414	/	942000	594167	/	942000	816589	/	942000	942000
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	観光プロモーション等	回	2	/	8	5	/	3	5	/	5	8
		単位あたりコスト	4438.0		1783.0		1790.4					
			/		39		/		/		森の京都DMO事業	
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	「大阪お城フェス」や「ツーリズムEXPOジャパン2022」へ参加し、森の京都エリアの観光素材やコンテンツを積極的にPRした。いずれのイベントも市単独では参加が困難であり、広域として活動するDMOだからこそできる取り組みである。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域のプロモーション活動などにおいて、DMOに参画していることは大きなメリットである。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	「食の京都秋のプレスツアー」では「食の京都」の魅力をメディアで取り上げてもらったことにより、福知山への食に対する世間の関心を向上させることができた。 市の「食を通じた観光促進事業」とも連携することで、食を目的とした観光誘客の促進をさらに推し進めることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	森の京都エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [令和4年度主要事業] ・マーケティング調査、分析(森の京都ファンクラブの創設) ・着地型旅行商品、滞在型コンテンツの開発促進(ガーデンツーリズムの登録) ・カーシェアリング推進 ・イベント等によるプロモーション 等 今年度は多くのイベントが開催されたため、旅行会社や観光客等に対して森の京都エリアのPRを行ったが、具体的な誘客につながるような取り組みを行っていく必要がある。		
改 善 策	新たに創設した森の京都ファンクラブ員に対し、市とともに有効な情報をダイレクトに発信することで、森の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。 また、市内で体験型観光コンテンツの造成、販売を行っているサードプレイスツーリズム協議会との連携や令和5年8月にオープンする福知山鉄道館への広域からの誘客についても連携を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	関係団体と連携し、森の京都エリアへの誘客による観光入込客数の拡大や観光消費額向上に努めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業										事業コード	310202				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	194		頁
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R5現在の状況			継続中		
根拠法令等	福知山城憩いの広場条例、福知山城憩いの広場条例施行規則															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業目的 （施策実現に向けて 事業が果たす役割）	福知山城周辺の賑わい創出施設、また中心市街地への回遊拠点として、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、まちなかの活性化につなげる。 福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会および市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら官民協働での維持管理を行う。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	894,274	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)赤井土木、(公社)福知山シルバー人材センター、福知山ガーデニングサークルゆらら、アムス・セキュリティサービス株式会社					
事業概要 （箇条書き）	・福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）の維持管理のために必要な物品の調達、施設修繕及び業務委託 ・市民参加型の維持管理を目的としたガーデニングサークルへの交付金の交付					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容			
	需用費	1,288	水道料金、電気代、福知山城憩いの広場ミスト設備取替等各种修繕			
	役務費	129	建物総合損害共済にかかる共済基金分担金、清掃・樹木選定くず等ごみ廃棄手数料			
	委託料	2,144	福知山城憩いの広場植栽・芝等維持管理業務、日常清掃等業務			
	使用料及び賃借料	44	福知山城憩いの広場植栽・芝等維持管理業務に係る機械の賃貸借			
	負担金補助及び交付金	450	令和4年度 福知山ガーデニングサークル運営交付金			

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,820		3,999		4,016		4,796				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		3,820		3,999		4,016		4,796				
予算財源内訳	① 一般財源	2,995		2,797		2,462		2,910				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	825		1,202		1,554		1,886				
決算情報	① 流充用額	△ 359		91								
	② 配当予算	3,461		4,090								
	③ 執行額	3,461		4,055								
	④ 執行率	100.0%		99.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.36	/	0.00	0.25	/	0.00	/				
	② 概算人件費	2,880		2,000								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,341		6,055								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城憩いの広場使用料		種類	商工使用料		実績金額	1,130	決算附属資料	10	頁

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	来場者数	人	129800 / 140000	129143 / 140000	157655 / 140000	/ 140000	140000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	ガーデニングサークル活動参加人数	人	128 / 220	140 / 220	152 / 220	/ 220	220
		単位あたりコスト	27.0	24.7	26.7		
	広場利用回数	回	0 / 12	411 / 12	7 / 福知山2城親いの広場（ゆねのガーデン）管理事業		
		単位あたりコスト		3461.0	579.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市民参加型サークルと協働で管理することにより、中心市街地への回遊の拠点として、中心市街地活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できており、街のシンボルとなるべくより多くの市民や来街者に憩える場が提供できている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山市中心市街地活性化基本計画1期(H23年3月～H28年3月)の基幹事業の一つとして整備したものであり、広場の活性化を図ることは、中心市街地への回遊の拠点であるため、有効な事業である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	委託業者により、清掃及び植栽選定が実施され、適切な維持管理が図れている。 また、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、広場全体の植栽管理やゲートのリース作成等で、中心市街地の活性化の拠点として整備するとともに、観光客等へのおもてなしにも努めている。観光客だけでなく市民、近隣市町の方にも親しんでもらえる場所としていくことが課題である。		
改 善 策	市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり会社及び ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、今後も適切な維持管理を継続する。また、出店者協議会や福知山まちづくり株式会社と連携し、引き続き福知山城の来館者を広場への来場につなげるとともに、令和5年夏にオープンする新しい鉄道館とも連携して取り組み、子育て世代等の来場に繋げていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	ゆらのガーデン出店者協議会をはじめ、福知山まちづくり株式会社、公立大学等他団体と連携したイベントを多数実施し、お城周辺を中心としたエリアのにぎわい創出と地域経済活性化に繋がった。福知山鉄道フェスティバルでは、出店者協議会の運営による電動カー等の乗車体験を実施した他、ゆらのバルを定期的の実施する等、意欲的な取り組みが継続的に展開されている。引き続き、官民連携による維持管理につとめ、子育て世代の交流の場及び誘客施設として適切な環境整備を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	城下町福知山・まち歩き観光促進事業										事業コード	310226			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	-			R5現在の状況		他事業へ統合		
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界限周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を一定時間無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	894,274	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	684		696		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		684		696		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	342		348		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	342		348		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		72							
	② 配当予算	684		768							
	③ 執行額	539		768							
	④ 執行率	78.8%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.07	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,680		560							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,219		1,328							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	城下町福知山まち歩き観光促進事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		306		40	頁
						実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	広小路通り歩行者自転車通行量	人/日	776	/	917	705	/	917	841	/	917
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	パーキング利用台数	台	29913	/	41000	25730	/	41000	35620	/	41000
		単位あたりコスト									
	まち歩き事業利用率	%	49	/	40	434	/	40	45	/	40
		単位あたりコスト	14.5		12.3		17.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	中心市街地活性化の推進に、重要な役割を担う広小路界隈への来訪者増加を図ることで中心市街地のにぎわい創出や商業の活性化につながる。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	利害関係者である福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	参加店舗による広報など、官民連携により中心市街地への誘客を図ることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	継続して事業を実施することで広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともに、まちなかの活性化につなげるものである。 H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたことで、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかが確認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。		
改 善 策	さらなる利用率向上のため、まちづくり会社および協力店舗と連携し本制度のさらなる周知と協力店舗数の拡大を図る。 福知山パーキングの利用促進や中心市街地の通行量調査との関連性を明確化し、より一体的に取り組むため、R5年度から「まちなか賑わい推進事業」に統合する。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☒ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	福知山まちづくり株式会社が協力店舗と連携し、さらなる周知や新規店舗の拡大により、利用者の利便性向上と中心市街地への誘客を促すべく継続的に取り組む。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☒ 他事業へ統合 (統合先事業名: まちなか賑わい推進事業)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業										事業コード	310258			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	194・196	頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	-			R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	鉄道のまちの歴史継承及び観光誘客の拠点として(仮称)福知山鉄道館ポッポランドを建設する。				
対象者	市民及び観光客	対象者数	894,274	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	44,950		0		0		0					
	② 補正予算	320,216		192,492		0		0					
	③ 繰越予算	△ 290,416		150,116		175,751		0					
	前年度繰越	35,451		325,867		175,751							
	次年度繰越	△ 325,867		△ 175,751									
小計(①～③)		74,750		342,608		175,751		0					
予算財源内訳	① 一般財源	21,513		2,638		3,338		0					
	② 国支出金	17,500		155,108		0		0					
	③ 府支出金	0		0		15,000		0					
	④ 地方債	0		177,300		30,300		0					
	⑤ その他特財	35,737		7,562		127,113		0					
決算情報	① 流充用額	△ 122		25,858									
	② 配当予算	74,628		368,466									
	③ 執行額	43,567		341,729									
	④ 執行率	58.4%		92.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.25	/	0.00	1.40	/	0.00	/					
	② 概算人件費	10,000		11,200									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		53,567		352,929									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業(地方創生拠点整備交付金)(繰越明許費分)		種類	商工費国庫補助金		144,089		決算附属資料	20		頁
			(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業基金繰入(浅田基金)			基金繰入金		7,562			42		
			(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業(一般補助・地活)			商工債		176,600			56		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	設計完成	回	0	/	1	1	/	1	-	/	-	1
	建物完成	回	-	/	0	-	/	0	0	/	1	1
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	関係者協議回数	回	8	/	10	19	/	10	10	/	5	10
		単位あたりコスト	12801.5		2293.0		34172.9					
			/		45		/		(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業			
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	「福知山鉄道館ポッポランド1号館の早期開設を求める請願」(平成29年度)の採択、福知山鉄道館ポッポランドあり方検討委員会での移設再開に関する提言提出(平成30年度)、個人の篤志家からの負担付寄附が議会で承認されるなど、市民や社会のニーズが高く、優先度の高い事業である。 令和3年度において、詳細設計が完了。国の地方創生拠点整備交付金への申請を行い、採択を得た。 令和4年度においては、建設予定地の解体工事を経て、新築工事、またそれに伴う電気設備工事や設計意図伝達業務、展示制作業務を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	民間への業務委託を行い、専門的な知見の活用及び経費抑制等による効率化を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	令和4年度中に建物本体部分は完成したが、排管・スロープ等を含む外構・周辺整備工事が令和5年度へ繰越となった。 展示制作についても、子育て支援や観光等団体が構成する鉄道館企画会議を設置し、意見をいただきながら進めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	子育て支援や観光等団体が構成する鉄道館企画会議を設置し、展示物や開館記念企画、施設愛称・ロゴ等について意見をいただきながら進めている。 また、愛称・ロゴについては公募を行い、開館に向けて広く多くの人に鉄道館に親しみを持ってもらい、開館に繋げられるように取り組んだ。 今後、繰り越した工事を含め、令和5年夏の開館を目指して確実に完成させる必要がある。		
改 善 策	残る工事の完了に向け、現場の把握と十分な進捗管理を行う。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新鉄道館を建設する事業目的を達成したため。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☒ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城公園観光駐車場管理運営事業										事業コード	650312			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進								施策コード	822				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計		決算附属資料	200	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山城やゆらのガーデンをはじめ、市内の観光施設を自家用車や大型バスで訪れる観光客に対して、安心安全な駐車場を提供することで、満足度向上を図る。					
対象者	観光客及び市民(福知山城、美術館及びゆらのガーデン利用者)		対象者数	227,543	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	6,477		5,781		24,849		7,063			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		6,477		5,781		24,849		7,063			
予算財源内訳	① 一般財源	3,422		2,915		875		4,762			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		17,300		0			
	⑤ その他特財	3,055		2,866		6,674		2,301			
決算情報	① 流充用額	△ 1,100		31							
	② 配当予算	5,377		5,812							
	③ 執行額	4,682		5,118							
	④ 執行率	87.1%		88.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.30	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,280		2,400							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,962		7,518							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣入館料等		種類	総務使用料		4,000		10	頁
						実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	観光入込客数	人	892414	/	942000	594167	/	942000	816589	/	942000
	福知山城入館者数	人	109189	/	50000	53445	/	60000	56253	/	60000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	警備日数	日	0	/	0	101	/	118	121	/	123
		単位あたりコスト			46.4		42.3				
			/		47		/		福知山城公園観光駐車場管理運営事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	自家用車による観光客が多いため、観光客が増加する土日祝日に福知山城やまちなか観光の基点となる観光駐車場に警備員を配置することは、観光客の利便性、安全性、満足度向上に必要不可欠であり、優先度は高い。 また、観光駐車場内のトイレの清掃を業務委託により実施し、観光施設の清潔な管理に努めた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	駐車場の警備業務は入札により事業者を決定し、警備員1名あたりの単価契約とすることで最小限のコストになるよう努めたほか、天候等の状況に応じて警備員の人数を調整するなど効率的に運営を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山城、ゆらのガーデンなどへの観光客は多くが自家用車であるため、駐車場を管理運営することは観光客へのサービス提供という面で非常に有効である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	昼前後は駐車場が満車状態になるなど、トイレも含めた管理は必要でありその目標は達成している。 令和5年度夏に「福知山鉄道館」がオープンするため、観光客数の動向を注視し、駐車場利用者及び歩行者の安全確保に努めていく必要がある。また、観光駐車場トイレの個室は和式が多く、ベビーチェア等も設置されていないことから、あらゆる方々が利用しやすいバリアフリー化が不十分である。		
改 善 策	令和5年度夏に福知山鉄道館が開館するため、駐車場利用者の増加が予想される。来場者の安全確保の面からも引き続き土日祝日には十分に警備員を配置するとともに、令和5年度事業においてトイレのバリアフリー化改修を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和5年度はトイレ改修工事を行ったため、令和6年度予算要求額は大幅に減額となっている。 福知山鉄道館フル開館の影響もあり、特に土日祝日は満車になるなど多くの利用がある。利用者の安全確保のために警備員の増配置や、トイレの衛生面の維持を継続して行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	未来につなぐ桜プロジェクト事業							事業コード	530221					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施 策 名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進						施策コード	822					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課					所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 公園管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名				R5現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	未来に向かってサクラを植栽することでまちの魅力を高め、市民の市への愛着と誇りを育むとともに、知名度アップやイメージの向上を図り、市内外からの観光客が訪れる場所を創造していく。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算 情報	① 当初予算	600		600		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		600		600		0		0		
予算 財源 内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	600		600		0		0		
決算 情報	① 流充用額	△ 121		0						
	② 配当予算	479		600						
	③ 執行額	479		479						
	④ 執行率	100.0%		79.8%						
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.15	/	0.00			/
	② 概算人件費	560		1,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,039		1,679						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	未来につなぐ桜プロジェクト事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金			478		
						実績金額			決算附属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	定性的評価		0	/	0	0	/	0	/	－	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	サクラ苗木植栽本数	本	20	/	30	24	/	30	21	/	30
	単位あたりコスト		24.6		20.0		22.8				
	単位あたりコスト		/		49		/		未来につなぐ桜プロジェクト事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・三段池公園には、1000本以上の桜が植栽され、春先には多くの公園利用者が花見を楽しんでいる。 ・桜の名所としてさらに魅力を高めるために、岐阜三大桜の苗木を植樹する。	☐ 高い ☐ やや高い ☒ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・「郡上桜守の会」から寄贈された桜を植樹することで、苗木代の費用削減に努める。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・数年後には、多くの桜が成長し、桜の名所としての魅力をより高めることができる。 ・小学校6年生が卒業記念として、自ら公園に桜を植樹することで、シビックプライドの育成に繋がる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・苗木の植樹であるため、成長するまでに時間が必要である。 ・現在、数多く植樹されているソメイヨシノについては、他の桜に比べ寿命が60年～80年と短く、三段池公園においても高齢化が進んでいるため、次世代へ向けて、樹種の選定や、植替え等を検討していく必要がある。		
改 善 策	・令和4年度で事業が終わるが、緑化推進を目的とする団体等が主体となり、事業を引き継いでいくことができないか検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---